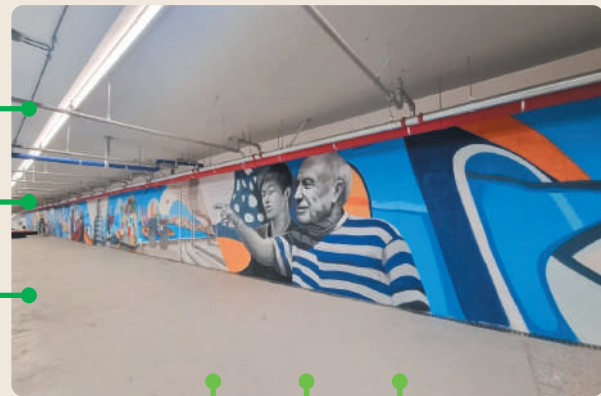




杉並区の交流自治体

令和6年(度)版
令和7年3月発行

登録印刷物番号
06-0105

編集・発行：杉並区区民生活部文化・交流課
〒166-8570
杉並区阿佐谷南一丁目15番1号
TEL (03)3312-2111(代)



**杉並区の
交流自治体**



 **杉並区**

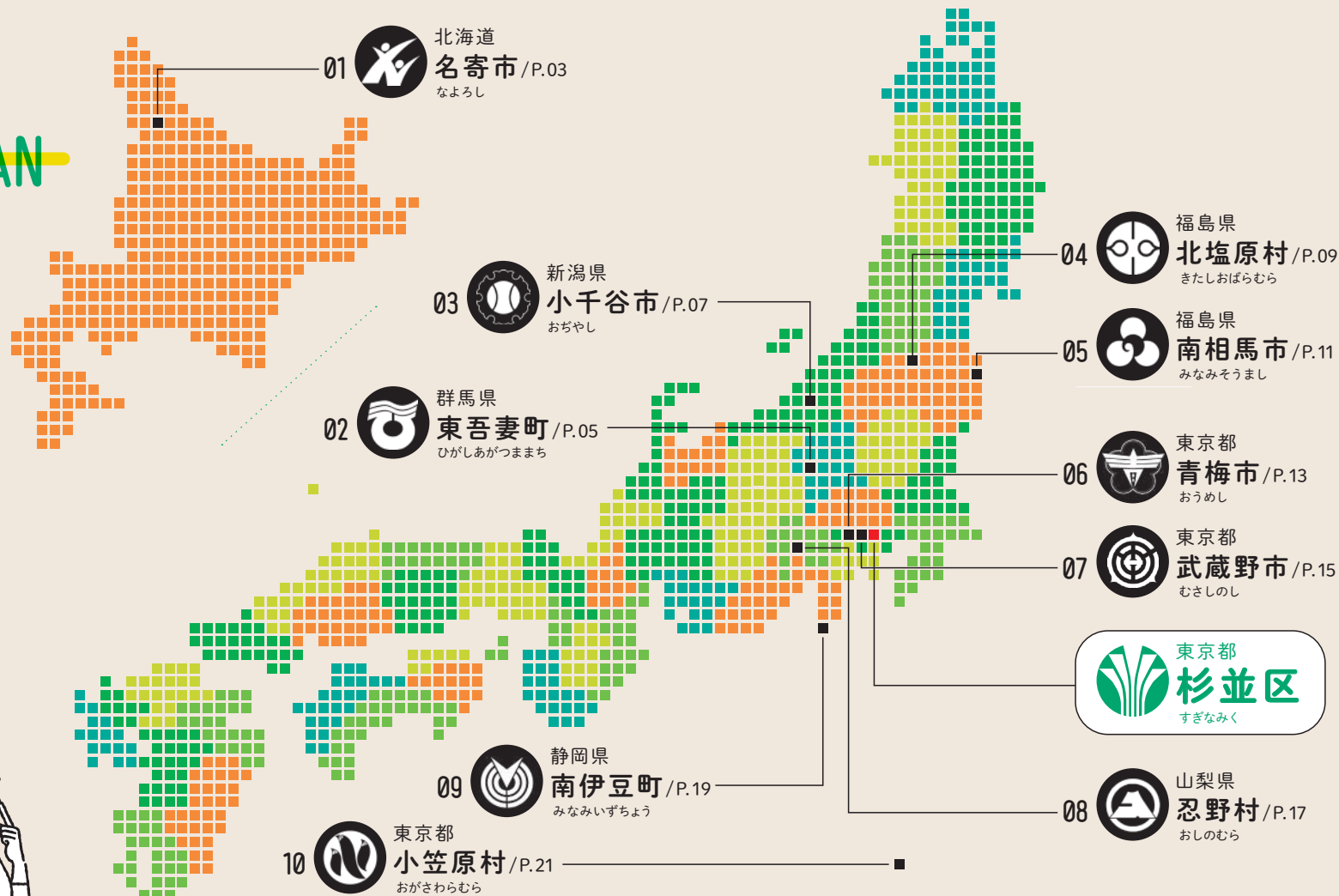


交流自治体 分布図



自治体の交流で拓がる
豊かな社会

JAPAN



WORLD

大韓民国ソウル特別市
瑞草区 / P.25
ソチョク

ウズベキスタン共和国 / P.28

台湾
台北市 / P.27
タイペイシ

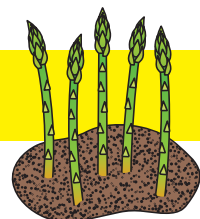
パキスタン・
イスラム共和国 / P.28

オーストラリア連邦
ニューサウスウェールズ州
ウィロビー市 / P.23

01



北海道
名寄市
なよろし



〔面積〕 534.86km²

〔人口〕 24,633人（令和7年2月28日現在）

〔交流の始まり〕

豊かな自然に恵まれ、杉並区ではできない自然体験や異なる伝統芸能・文化の交流を行い、双方の発展を図るため協定を締結しました。

〔名産品〕 もち米「はくちょうもち」、アスパラ、スイートコーン、星空雪見法蓮草

〔観光スポット・イベント〕

ひまわり畑、市立天文台きたすばる、なよろ雪質日本一フェスティバル、北の天文字焼き



ひまわり畑

杉並区との主な交流

Ⅲ 移動天文台車〔ポラリスII〕による観望会

名寄市から移動天文台車を迎え、区内小学校やすぎなみフェスタで特殊レンズを用いた太陽観測や天文台技師解説の星空観望会を行っています。

Ⅲ 阿波おどり交流事業

毎年、杉並区からは「ふうれん白樺まつり」に高円寺阿波おどりの派遣をし、名寄市からは「東京高円寺阿波おどり大会」に踊り団を派遣するなど相互に市民との交流を深めています。

Ⅲ 小学生名寄自然体験交流事業

毎年12月下旬の3日間、区内の児童が名寄市を訪れ、杉並区にはない厳しい寒さや豊かな自然との触れ合いを通じた学習を行っています。市立天文台での天体観測、北国博物館の見学とスノーシュートレッキングなどを行っています。

- 平成元年（1989）7月13日
旧風連町と「交流自治体協定」締結
〔平成18年（2006）6月6日 市町村合併で名寄市として再締結〕
- 平成7年（1995）10月14日
旧風連町と「防災相互援助協定」締結
〔平成18年（2006）7月1日 市町村合併で名寄市として再締結〕

北の天文字焼き



サンピラー現象



02 群馬県 東吾妻町

ひがしあがつままち



〔面積〕 253.91km²

〔人口〕 11,990人（令和7年3月1日現在）

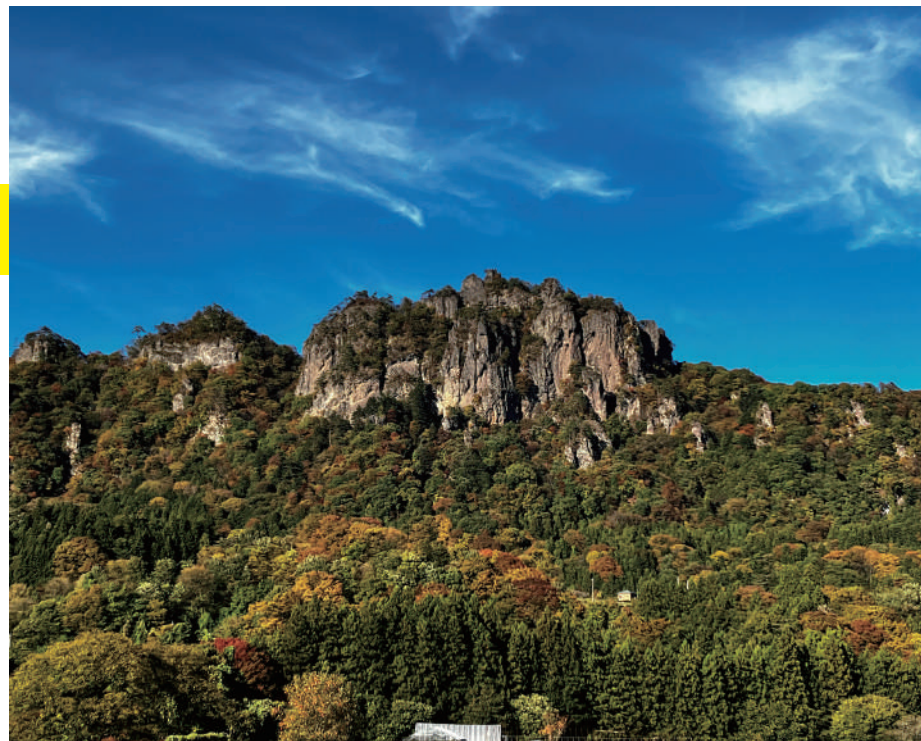
〔交流の始まり〕

杉並区から日帰りできる農山村として、
区民の心を潤す第二の故郷づくりと
住民同士の交流を期待し、協定を締結しました。

〔名産品〕 ブランドニジマス「ギンヒカリ」、こんにやく

〔観光スポット・イベント〕

吾妻峡、箱島湧水、岩櫃城跡、
吾妻峡レールバイクアガッタン、東吾妻ふるさと祭



岩櫃山

杉並区との主な交流

国内子ども交流事業

平成2年から、両自治体の小学5～6年生が夏休み中、それぞれの地域を訪れ、生活や文化に対する理解を深めています。区内では、街歩きや観光、町内では、自然体験をしています。（同事業は、名寄市とも実施）

公衆浴場組合による東吾妻町温泉利用事業

杉並浴場組合では、気軽に温泉を楽しんでもらおうと、平成24年から、道の駅あがつま峡の日帰り温泉施設「天狗の湯」の源泉を区内の銭湯に運ぶイベントを実施しています。



岩井親水公園

東吾妻町・杉並区バレーボール交流会

スポーツを通じた親睦と友好の輪を広げるため、平成4年に始まった「すぎなみ・あがつまママさんバレーボール交流会」が発展し、平成16年からはほかの交流自治体も招いて相互開催しています。



熱戦を繰り広げる選手たち

- 平成元年（1989）8月6日
旧吾妻町と「友好自治体協定」締結
〔平成18年（2006）8月26日 市町村合併で東吾妻町として再締結〕
- 平成7年（1995）10月14日
旧吾妻町と「防災相互援助協定」締結
〔平成18年（2006）10月10日 市町村合併で東吾妻町として再締結〕

03 新潟県 小千谷市

おぢやし

〔面積〕 155.19km²

〔人口〕 32,480人（令和7年3月1日現在）

〔交流の始まり〕

井草に小千谷学生寮がある縁で、区内イベントへの参加や区立公園への錦鯉寄贈などの交流をきっかけに協定を締結しました。

〔名産品〕 錦鯉、へぎそば、魚沼産コシヒカリ、日本酒、米菓、小千谷縮

〔観光スポット・イベント〕

錦鯉の里、牛の角突き、おぢやまつり、片貝まつり、おぢや風船一揆、山本山高原



おぢやまつり

杉並区との主な交流

小千谷まるごと市場

すぎなみフェスタや井草にある小千谷学生寮、区役所前で定期的に小千谷市の物産展を開催しています。名産のへぎそばや魚沼産コシヒカリをはじめ、新鮮な旬の野菜など、様々な特産品を販売しています。

交流自治体ワークショップ

区民を対象に、小千谷市の米菓メーカーを講師にお招きし、「おせんべいワークショップ」を開催しました。参加者は、味付け体験を通じて自分だけの米菓を作り、楽しみながら交流を深めました。



牛の角突き

●平成16年（2004）5月12日
「災害時相互援助協定」締結

おぢやクラインガルテンふれあいの里

農園を備えた田舎暮らし体験施設です。区主催の「農にふれあう講座」や毎年2月に開催される「すぎなみ会議」で当施設の紹介を行っています。これまでに、延べ22組の区民にご利用いただいています。



そば畑

04 福島県 北塩原村

きたしおばらむら



〔面積〕 234.08km²

〔人口〕 2,393人 (令和7年3月1日現在)

〔交流の始まり〕

村の豊かな自然や観光資源を活用し、
区民の生活に潤いを与え、村の地域活性化に
つなげるために協定を締結しました。

〔名産品〕 会津山塩、花豆(缶詰)、ジュンサイ、高原野菜

〔観光スポット・イベント〕

五色沼湖沼群、^{ひばらこ} 桧原湖、桜峠、諸橋近代美術館、
^{うらばんだい} 裏磐梯サイクルフェスティバル



磐梯山・桧原湖

杉並区との主な交流

III まるごと保養地協定

区民は村の自然を満喫し、村は地域の活性化を図れるよう、北塩原村を区の保養地とする協定を結んでいます。協定により区民は、村内賛同施設での宿泊や体験、土産物購入の際、割引等のサービスを受けられます。

III モニターツアー

村の魅力をより深く知ってもらうため、県内有数の観光地である「裏磐梯」をガイドと一緒に学びながら巡り、特産品の高原野菜の収穫を体験したり、ここでしか味わえない区民ツアーを実施しました。

- 平成16年(2004)11月1日
「まるごと保養地協定」締結
〔令和6年(2024)7月27日 「まるごと保養地協定」再締結〕
- 平成24年(2012)2月25日
「災害時相互援助協定」締結

III 北塩原村観光物産展

初夏と秋の年2回、区役所で開催しています。初夏はアスパラ、秋はとうもろこしをメインに村の農家さんが愛情こめて育てた新鮮な野菜をお届けしています。

桧原湖ワカサギ



モニターツアー



05



福島県

南相馬市

みなみそうまし



〔面積〕 398.58km²

〔人口〕 55,316人（令和7年3月1日現在）

〔交流の始まり〕

少年野球を通じた民間での
スポーツ交流の積み重ねを背景に、
災害時相互援助協定を締結しました。

〔名産品〕 クリームチーズのみそ漬、相馬巻、浮城

〔観光スポット・イベント〕

浦尻貝塚、烏崎海岸（練馬風景、乗馬体験）、
サーフィン、相馬野馬追



お行列

貝塚内部

杉並区との主な交流

自治体スクラム支援会議

東日本大震災で被災した南相馬市の支援のため、平成23年4月に区が災害時相互援助協定を締結している自治体と立ち上げた会議です。令和3年12月にはスクラム自治体による支援物資供給体制を確実なものとするため、災害時の受援・支援計画を策定しました。

区職員派遣

南相馬市が東日本大震災で甚大な被害を受けたことから、区では平成23年の発災から復興支援のため区職員を継続して派遣しています。



野球交流

旧新泉小学校（杉並和泉学園）と石神第一小学校（南相馬市）の両学区の野球チームが昭和49年から交流試合を開催しています。また、平成23年に始まった区と台湾台北市の中学生野球交流の輪にも南相馬市の子どもたちが加わっています。

●平成17年（2005）5月27日

原町市と「災害時相互援助協定」締結

〔平成19年（2007）2月19日 市町村合併で南相馬市として再締結〕



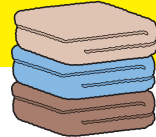
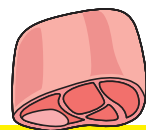
サーフィン

06



東京都
青梅市

おうめし



[面積] 103.31km²

[人口] 128,835人 (令和7年3月1日現在)

[交流の始まり]

昔から青梅街道で繋がり、青梅市内に杉並区の福利厚生施設(旧青梅寮)があったことから協定を締結しました。

[名産品] 青梅せんべい、日本酒「澤乃井」、ブランド豚肉「TOKYO X」、ホットマンのタオル

[観光スポット・イベント]

御岳山、塩船観音寺、青梅マラソン、リバーアクティビティ、ハイキング、青梅大祭、青梅市納涼花火大会



青梅大祭

杉並区との主な交流

市民・区民参加イベント

杉並区スポーツ振興財団が、青梅市カヌー協会が講師を務めるカヌー教室を多摩川で開催するなど、両都市の団体が協力しています。

高円寺阿波おどりが、観梅市民まつりの際に青梅市を訪れ、秀逸な演舞を披露します。当日、阿波おどりを教えてもらい、みんなで輪になっておどる時間は、笑顔が溢れ、大変盛り上がります。

武蔵御嶽神社



しょうぶ公園



ロックガーデン



●平成21年(2009)5月21日
「交流に関する協定」締結

●平成23年(2011)8月28日
「災害時相互援助協定」締結

すぎなみ地域大学 [森林ボランティア育成講座]

市との共同開催講座です。受講生は青梅の山林で間伐、下草刈り、枝打ちなどの実習に臨み、森林整備の基礎知識や技術を学びます。講座終了後は、青梅市の森林保全を行うボランティア団体に加入するなどして活動が続けられています。

07



東京都
武蔵野市
むさしのし



〔面積〕 10.98km²

〔人口〕 147,893人（令和7年3月1日現在）

〔交流の始まり〕

東日本大震災を踏まえ、災害が発生した際に、隣接自治体として相互に支援するため協定を締結しました。

〔名産品〕 東京うど、境のとながらし

〔観光スポット・イベント〕

井の頭恩賜公園、武蔵野プレイス、ハーモニカ横丁、武蔵野桜まつり



武蔵野プレイス



はな子像

なぞまちあるき

杉並区との主な交流

Ⅲ 西荻窪・吉祥寺観光PR事業

杉並区産業振興センターが事務局を務める「中央線あるあるプロジェクト実行委員会」と武蔵野市観光機構が連携し、西荻窪・吉祥寺エリアの回遊性向上の取組を令和3年から実施しています。



●平成23年（2011）12月20日
「災害時相互協力協定」締結

08



山梨県

忍野村

おしのむら



〔面積〕 25.05km²

〔人口〕 9,695人（令和7年3月1日現在）

〔交流の始まり〕

豊かな自然の中で体験学習を行える
区立小学校の校外学習施設「富士学園」を
設置したことを契機に協定を締結しました。

〔名産品〕 そば、とうもろこし、富士山の湧水

〔観光スポット・イベント〕

忍野八海、忍野しのびの里、森の中の水族館、
富士忍野高原トレイルレース



忍野八海

杉並区との主な交流

写真展

村が毎年開催している「富士忍野グランプリフォトコンテスト」の入賞作品を、平成26年から区役所「区民ギャラリー」で展示しています。

座の市での「食」のPR

杉並芸術会館（座・高円寺）の劇場前広場で、毎月第3土曜日に開催されている食べ物市において販売される忍野村の「糖度が高いとうもろこし」は、リピーターが多い人気商品です。（名寄市や南伊豆町も出店）

シルバー賞「カメラ目線」

●平成24年（2012）8月27日
「災害時相互協力協定」締結

春たけなわ



09



静岡県

南伊豆町

みなみいずまち



〔面積〕 109.94km²

〔人口〕 7,472人（令和7年3月1日現在）

〔交流の始まり〕

区立小学校の病虚弱児童対象の「南伊豆養護学園」を設け、その後校外施設「弓ヶ浜学園」を設置したことを契機に協定を締結しました。

〔名産品〕 伊勢海老、金目鯛、温泉メロン、いちご

〔観光スポット・イベント〕

弓ヶ浜海水浴場、石廊崎、
みなみの桜と菜の花まつり



石廊崎

弓ヶ浜(白砂青松)



みなみの桜_菜の花部門
最優秀賞

杉並区との主な交流

子ども漁村交流事業

平成27年から、区内の小学4～6年生を対象に、自然豊かな南伊豆町の生活を体験してもらうために行われています。地元の人々との交流や干物づくり、海上スポーツなど様々な漁村体験を行っています。

就労支援事業の受け入れ

就労を目指す若者等を対象に合宿型就労体験事業の受け入れを行っています。2泊3日で地元の方々の協力のもと、農業や漁業体験をしています。

特別養護老人ホーム〔エクレシア南伊豆〕

両自治体の地域課題解決のため、平成30年3月に全国初の自治体間連携による特別養護老人ホームを南伊豆町に開設しました。豊かな自然に囲まれ、居室が広く、区内の特養にはない余裕のある住環境です。

●平成24年（2012）9月14日
「災害時相互援助協定」締結

10



東京都

小笠原村

おがさわらむら



〔面積〕 父島23.45km²、母島20.21km²

〔人口〕 2,493人（令和7年3月1日現在）

〔交流の始まり〕

自然体験学習や現地の方々との交流を通じ、豊かな人間性と環境保全意識を持つ生徒を育成することを目的に宣言を取り交わしました。

〔名産品〕 パッションフルーツ、トマト、レモン

〔観光スポット・イベント〕

南島、ドルフィンスイム、ナイトツアー、小笠原サマーフェスティバル



中山峠

杉並区との主な交流

中学生小笠原自然体験交流

世界自然遺産である小笠原村の貴重な自然体験や自然に育まれた文化を通して、子どもたちの豊かな人間性を育み、各学校・地域における環境保全活動の推進役となる世界的視野で持続可能な社会を考えることができる生徒の育成を目的として、平成25年3月に開始しました。小笠原村では、シュノーケルなどの自然体験学習やビーチクリーニングなどの環境保全活動を行っています。

まるごと小笠原フェア

日本への返還50周年を記念し、小笠原村の魅力や歴史を区民に伝えるためのイベントを、平成31年3月に区役所内で開催しました。イベントでは、小笠原村の写真展示や名産品販売、小笠原古謡コンサートなどを行いました。

●平成25年（2013）7月26日
「子ども自然体験交流事業推進宣言」を取り交わす



おが丸出港

深い森を抜けると...



国外の交流

杉並区では、国際理解の増進を目指して、教育・スポーツ・文化など様々な分野で海外の都市交流を行っています。

オーストラリア連邦
ニューサウスウェールズ州

ウィロビー市

City of Willoughby

〔面積〕 22.43km²

〔人口〕 77,874人（令和5年1月1日現在）

〔交流の始まり〕

日本企業や日本人居住者が多く親しみ易い、
時差もほとんどない、英語圏の国であるが
環境面の類似性があることから協定を結びました。

〔観光スポット・イベント〕

ノースブリッジバス、ヘブンアンフィシアター、
シュガーローフポイント、ハーモニーデイ



ハーモニーデイ

杉並区との主な交流

中学生海外留学事業 （次世代育成基金活用事業）

平成4年から、区内の中学生が夏休みを利用してウィロビー市を訪問し、国際理解を深めています。子どもたちの豊かな人間性を培い、国際社会において必要な資質の形成を目指すことを目的に実施しています。また、不定期ではありますが、ウィロビー市からも学生が杉並区を訪れています。

国際文化交流事業

杉並区の中学生とウィロビー市の中学生が文通、ビデオレターなどの交流を通し、一人ひとりの繋がりを築きながら、多文化理解や国際的な視野を育むことを目的に実施しています。

市内の学校を訪問

●平成2年（1990）5月11日
「友好都市協定」締結



国外の交流

大韓民国
ソウル特別市

瑞草区

ソチョク

〔面積〕 47.00km²

〔人口〕 408,376人（令和7年1月1日現在）

〔交流の始まり〕

人口規模や住宅都市などの類似点に加え、日本に近い国外の自治体として幅広い交流の可能性がことから、協定が締結されました。

〔観光スポット・イベント〕

GO TO MALL（高速ターミナル駅）、
盤浦漢江（バンポハンガン）公園、
芸術の殿堂、ソリプルフェスティバル



盤浦感江公園
〔月光レインボー噴水〕

杉並区との主な交流

職員交流研修生の派遣・受入れ

平成26年から、友好都市としての相互理解と信頼をもとに、相互の職員交流研修生の派遣・受入れを行っています。

韓国料理教室

瑞草区と杉並区の交流について理解を深めるため、韓国料理を作る料理教室を開催し、同教室内で杉並区からの職員交流研修生が両区の交流について紹介しました。

異文化理解講座

瑞草区からの職員交流研修生が、区内中学校に出向き韓国の文化や生活、瑞草区の紹介をしました。

泉南中での発表の様子

●平成3年（1991）12月9日
「友好都市協定」締結

料理教室



台湾 台北市 タイペイ

〔面積〕 271.79km²

〔人口〕 2,480,881人（令和7年2月現在）

〔交流の始まり〕

杉並区と南相馬市の中学生野球チームが台湾にて、現地の中学校と親善試合を行ったことをきっかけに、宣言を取り交わしました。

〔観光スポット・イベント〕

台北101、中世紀記念堂、故宮博物院、九份、夜市、台湾人形劇



杉並区との主な交流

中学生の野球交流

平成23年12月に「第1回交流自治体中学生親善野球大会」を、台湾にて開催しました。東日本大震災で被災した南相馬市の中学生も台湾に招待され、台北近郊の中学生6チームと杉並区・南相馬市の中学生チームが対戦しました。以降、台湾と杉並区で相互に野球大会を開催しています。

文化・芸術の相互交流

国立台湾戯曲学院の祝賀公演での高円寺阿波おどりを契機に「文化・芸術の相互交流推進宣言」を取り交わし、台湾では阿波おどりを、区内では台湾雑技等の公演を行っています。

まるごと台湾フェア

台湾グルメやグッズの販売、台湾映画の特別上映会などを行っています。毎年多くの方が来場し、台湾の文化について、理解を深めています。

●平成25年（2013）12月28日
台湾で「交流推進宣言」を杉並区と台湾が取り交わす

ウズベキスタン 共和国

Republic of Uzbekistan



令和2年2月25日に、杉並区とウズベキスタンは東京2020オリンピックにおける事前キャンプ受け入れを契機に、ホストタウンとして継続的な交流を推進していくべく、宣言を取り交わしました。

杉並区との主な交流

ボクシング事前キャンプ

東京2020オリンピック競技大会に出場するボクシング・ウズベキスタン選手団が事前キャンプのため、高円寺体育館を訪れ、ランニングやシャドーボクシングなどのトレーニングを行いました。

●令和2年（2020）2月25日
「ホストタウン交流宣言」を取り交わす

パキスタン・ イスラム共和国

Islamic Republic of Pakistan



令和2年2月26日に、杉並区とパキスタンは東京2020オリンピックにおける事前キャンプ受け入れを契機に、ホストタウンとして継続的な交流を推進していくべく、宣言を取り交わしました。

杉並区との主な交流

小学校でのオンライン交流

令和3年2月に旧高円寺小学校（高円寺学園）5年生とパキスタンの陸上・水泳・馬術・射撃のオリンピック選手7名でオンライン交流会を行いました。

●令和2年（2020）2月26日
「ホストタウン交流宣言」を取り交わす

杉並区の紹介



〔面積〕 34.06km²

〔人口〕 577,191人（令和7年3月1日現在）

〔観光スポット・イベント〕

大田黒公園

杉並アニメーションミュージアム

荻外荘

東京高円寺阿波おどり

阿佐谷七夕まつり

すぎなみフェスタ



荻外荘



大田黒公園

杉並区の地名は、江戸時代の初め、領地の境界のしるしとして青梅街道に沿って植えたとされる、杉の並木があったことに由来します。

東京23区の西側に位置し、東は中野区・渋谷区、西は三鷹市・武蔵野市、南は世田谷区、北は練馬区と隣接しています。都心から近いこともあり、外国人を含む様々な方が暮らしています。ライブハウスやギャラリーなども多く、文化・芸術が盛んです。また大きな公園や庭園も多く、自然に恵まれているのも魅力の1つです。

交流自治体情報紙



交流自治体情報紙「てくてく」では、各自治体の食・文化・自然・歴史・ものづくりなど、それぞれ特色ある「とっておきの情報」を発信しています。

ぜひ本紙を参考に、杉並の交流自治体へ訪れてみてください。



●バックナンバーはこちら→

コミュかるショップ

交流自治体の名産品や杉並区公式キャラクター「なみすけ」のグッズを販売しています。年間を通して季節やイベントをテーマとした特別フェアを開催しています。ぜひお立ち寄りください。

●場所：区役所中棟1階

営業時間：午前9時～午後4時30分

（土曜・日曜・祝日・年末年始休業）

